

(2)

公開実用 昭和59—144269

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59—144269

Int. Cl.³
F 16 K 15/20
B 60 C 29/00

識別記号

厅内整理番号

6636—3H

7443—3D

⑫ 公開 昭和59年(1984)9月27日

審査請求 未請求

(全 頁)

タイヤバルブ

⑬ 考案者 武藤和彦

大垣市荒川町106の6

⑭ 実 願 昭58—39379
⑮ 出 願 昭58(1983)3月17日

⑯ 出願人 太平洋工業株式会社

大垣市久徳町100番地

明細書

1. 考案の名称 タイヤバルブ

2. 実用新案登録請求の範囲

バルブシステム①の外面上部におねじ④を設けると共に内面には順次ストレート状に長くした開口⑤とめねじ⑥を設け、このめねじ⑥の下段には段部⑦を設け、一方、逆有底筒状のバルブコア本体⑧には上端の中心に軸⑨の挿入穴⑩とすり割り加工によって形成された空気注入用の窓⑪を設けると共に、外側面の中間位置にはOリング⑫を、又外側面下部にはおねじ⑬を、さらには内面下端部にハの字状のテーパー面⑭を設け、前記バルブコア本体の挿入穴⑩には中間部にダボ⑮を有する軸⑨を挿入し、前記バルブコア本体⑧の上面には軸上端部のね止め部材⑯との間に圧縮コイルばね⑰を介在させ、軸⑨の下方には円筒状の弁パッキン⑲を前記ダボ⑮の下面に接する如く断面U状のパッキン受⑳により固定し、前記バルブコア本体のテーパー面⑭と弁パッキン⑲との上面で気密を

(1)

720

実開59-144269

保持するようにバルブコア⑧を構成し、該バルブコアとバルブシステムを組合せてなるタイヤバルブ。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、従来のバルブコアの頭に形成されていたおねじを胴の胴パッキン取付け位置よりも下に移すことによりバルブコアをバルブシステムに装着する際にねじのかみ合いやすり合いなどによつて発生する金属粉がシール面に付着することを阻止し、未然にタイヤバルブのエアー洩れを防ぐものである。

第1図に見られるように従来のタイヤバルブ①は、おねじ②を形成している頭③が、ほぼ中央に胴パッキン④を設けている胴⑤の上側に位置しており、該頭③と胴⑤の組付けは該頭③の下側に形成しているスカート部⑦をかしめることにより行なわれている。又、バルブコア⑧はバルブシステム⑨の弁口上端のめねじ⑩にねじ込むことによつてテーパー状のシール面⑪と前記胴パッキン④とを接触させ、バルブシステム⑨との気密を保つようになつてゐる。しかし、バルブコアの装着の際にね

じのかみ合いやすり合いなどによって発生する金属粉が、装着途中やエアー注入排出時に前記頭③に設けられている窓⑭を通って弁パッキン⑬の上面（シール面）や前記バルブシステム⑨とバルブコア⑩との間を通過て頭パッキン⑬の外側面（シール面）に付着し、しばしばエアー洩れを引き起こしていた。

本考案は従来のタイヤバルブの前記欠点に鑑み、前記欠点をなくす方策を種々検討の結果到達したものである。

本考案の1実施例を図面に基づいて詳細に説明すると次の通りである。

第2図は本考案のタイヤバルブの弁口近傍の全縦断面図であり、本考案に係るバルブシステム⑨は、その外面上部におねじ⑭を設けると共に内面には順次ストレート状に長くした開口⑮とめねじ⑯を設け、このめねじの下部には段部⑰が設けられている。尚、段部から下の寸法形状は従来のバルブシステムと同一であるので説明を省略した。

バルブコア⑩は逆有底筒状のバルブコア本体⑮上

端の中心位置に後述する軸⑩の挿入穴⑨と、本体⑩の上方の一部分をすり割り加工することによって形成された空気注入用の窓⑪を設けると共に、外側面の中間位置にはOリング⑫を、又外側面下部にはおねじ⑬を、さらには内面下端部にはハの字状のテーパー面⑭を設け、前記バルブコア本体の挿入穴⑩には中間部にダボ⑮を有する軸⑩を挿入し、前記バルブコア本体⑩の上面には軸上端部のばね止め部材⑯との間に圧縮コイルばね⑯を介在させ、軸⑩の下方には円筒状の弁パッキン⑯を前記ダボ⑮の下面に接する如く断面J「状のパッキン受⑯により固定し、前記バルブコア本体のテーパー面⑭と弁パッキン⑯との上面で気密を保持するようにしたものである。

又、本考案のタイヤバルブ①は前述のバルブステムのねじ⑬にバルブコアのおねじ⑬をねじ込んでなるものである。

本考案は上述の如くバルブコアとバルブステムとのねじ嵌合の位置がエアー注入用の窓⑪やOリング⑫よりも下方にあるため、装着途中やエアー

注入・排出時に胴パッキンの外側面（シール面）や蓋を通って弁パッキンの上面（シール面）に金属粉が付着することを阻止し、未然にエアー洩れを防ぐ産業上極めて有益な考案である。

4. 図面の簡単な説明

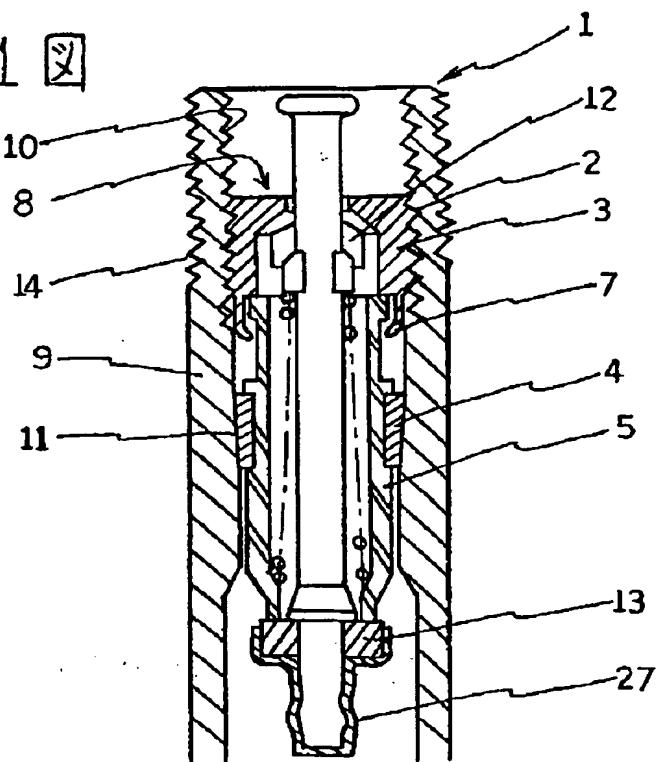
第1図は従来のタイヤバルブの全縦断面図、第2図は本考案のタイヤバルブの全縦断面図。

①タイヤバルブ	②おねじ	③頭
④胴パッキン	⑤胴	⑦スカート部
⑥バルブコア	⑧バルブステム	⑩めねじ
⑪テーパー状のシール面		⑫窓
⑬弁パッキン	⑭おねじ	⑯開口
⑮めねじ	⑯段部	⑰バルブコア本体
⑯軸	⑰穴	⑱おねじ
⑲テーパー面	⑲Oリング	⑳おねじ
⑳コイルばね	㉑ダボ	㉒ばね止め部

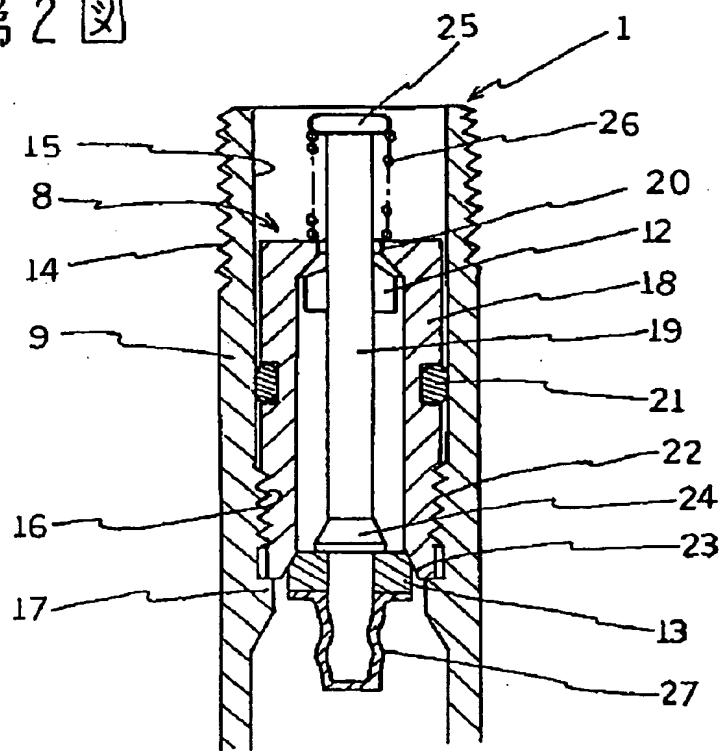
実用新案登録出願人

太平洋工業株式会社

第1図



第2図



実用59-144269

725

THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)